

発音の方法について

発音方法			メリット	デメリット
常時発音 (常時音を発生させるような対策にするか)	自動発音 (速度等一定条件下で)	ドライバーの操作無しに自動発音	<ul style="list-style-type: none"> ・発音を必要とするシーンで常に発音している ・音がずっと聞こえてくると近づいてくるのがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・明らかに不要なシーンでも発音(高速道路の渋滞中、料金所等) ・周囲への配慮が必要なシーンでも発音(深夜、早朝の住宅街等) ・システムが複雑
	自動発音 (速度等一定条件下で) OFFスイッチ付き	基本は、自動発音だがドライバーの意思により消音可能	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーがOFFしない限り、発音を必要とするシーンで常に発音している ・音がずっと聞こえてくると近づいてくるのがわかる ・ドライバーが不必要と判断した場合に消音できるので、と比べてドライバーの煩わしさは少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者にとって必要なシーンでもドライバーがOFFしてしまうと発音しない ・システムがもっとも複雑
	ON-OFFスイッチ付き	ドライバー操作によりON時連続発音	<ul style="list-style-type: none"> ・音がずっと聞こえてくると近づいてくるのがわかる ・ドライバーが必要とするシーンだけ発音するので、と比べてドライバーの煩わしさは少ない ・システムが最も簡単 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者にとって必要なシーンでもドライバーがONにしていなくても発音しない
手動発音 (ドライバーが必要な時だけ音を発生させるような対策にするか)	ソフトクラクションのようなもの	ドライバーが押している間だけ発音	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーが必要とする瞬間だけ発音するので、と比べてドライバーの煩わしさは少ない ・クラクションほどは、驚かされない ・システムが簡単 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者にとって必要なシーンでもドライバーが必要性に気がつかないと発音しない ・クラクションほどではなくても歩行者の反感を買うおそれがある